

「やさしいニューガラス講座」を開催することになった。運営に関して意見交換を行った。結果として下記の通り進めることとした。

- (1) 会員にはオープンにする。
- (2) 拙速よりも、じっくりと時間をかけていい研究会に仕上げる。
- (3) 運営基準を作り、統一的運営を図る。
- (4) 主査を集めて打合せ会を開き、運営について協議する。

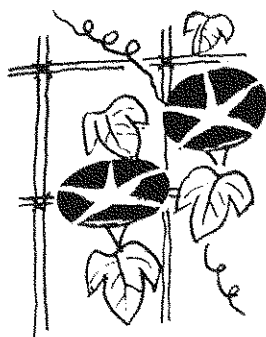
4 重要テーマ調査仕上げ

執筆要領・納期などについて成案を得つつある。近く第1～5委員会主査に依頼する。原稿は年度内に取りまとめたいと考えている。

5 その他

国際シンポジウム

補助金の有無にかかわらず開催する事としたい。補助金が受けられない場合は規模の縮小も止むを得ない。(その後、社団法人化を条件に補助金が受けられることになった。概要はなるべく早い機会にお知らせする)



告知板

●第10回ニューガラスフォーラムセミナー

日時：昭和62年7月21日(水)13:00～17:00

場所：私学会館財団分室 5階 講堂

東京都千代田区富士見1-10-12

テーマ：ガラス補強材

(1) オキシナイトライドガラスファイバ

千葉工業大学工学部工業化学科

助教授 清水紀夫氏

(2) 高強度ガラスファイバ

旭硝子株式会社研究開発部

主席技師 太田博紀氏

(3) 低誘電率ガラスファイバ

日本電気硝子株式会社登川工場

技術課長 中川 勇氏

(4) 高機能ガラスフレイク

同志社大学工学部化学工学科

教授 奥田 聰氏

●第11回ニューガラスフォーラムセミナー

日時：昭和62年9月4日(金)13:00～17:00

場所：京都市アバンティホール（京都駅前）

テーマ：未定

《Books & Articles》

●注目市場：2兆円市場に育つか、いま話題のニューガラス

週刊就職情報、1987年2月19日号、P.7

●Advanced and Specialty Glasses Find New Applications. (新しい応用分野広がるニューガラス)

Glass Industry, February 1987, P.8~10

先にご紹介した(本誌No.3)アメリカの調査報告に基づき、その内容を簡単に紹介した記事である。ニューガラスの将来市場を下記のように予測している(単位:百万ドル)。

	1985年	1990年	1995年	年平均伸び率
光ファイバー	227	459	982	15.8%
エレクトロニクス	214	341	497	8.8
航空宇宙	23	62	114	17.4
医療・歯科	43.1	65.9	104.5	9.3
放射線防御	3	3.9	4.8	4.8
放射性廃棄物処理	—	2.7	1.7	—
合計	510.1	934.5	1704.0	12.8

かなり低い予測のように思えるが、ニューガラスの範囲のとらえ方の違い、素材のみの予測の為かと考えられる。

●ビジネス・ナウ 光ファイバーから入れ歯まで

—ニューガラスが創造するハイテク社会

はあべすと(日本たばこ産業社内報)、No.24 (昭和62年3月号)、P.14~15

ニューガラスフォーラム事務局、二、三の会員会社等を取材した記事。

い競争が始まったと指摘。

●ニューガラス—アモルファスの可能性

今月のゲスト 作花済夫氏(京都大学化学研究所教授)

ポリファイル、Vol.24, No.4 (1987年4月)、P.2~6

ニューガラスフォームの世話人でもある作花先生のインタビュー記事。大きな項目だけ拾ってみると、「アモルファスって何だろう」、「ニューガラスのはじまりは」、「広がる応用—光ファイバーでエネルギーが送れないか」、「アモルファスの可能性を考えてみれば」など、ニューガラスについて種々の角度から語る。

●High Tech Analysis : New Glass Boom

Predicted in Japan.

(先端技術解析:ニューガラス、日本でブームを呼ぶか)

Nikkei High Tech Report, March, 1987, P.11~12

日本経済新聞社が海外向けに発行している英文誌に掲載された記事。

ニューガラスの概念を簡単に触れ、技術的挑戦は始まったばかりであること、ニューガラスフォーラムの活動状況等を紹介している。

●ニューガラス&材料の役割

開発のカギは材料と製法の選択—高純度材料は新機能創出の主役にニューガラス産業化の方向を京大・作花教授に聞く

レアメタルニュース、No.1402 (昭和62年5月16日)、P.1~5

これも作花教授のインタビュー記事。こちらの方は、「機能別の主なニューガラスの組成・用途など一覽」等を載せていて、やや技術的な内容になっている。

●Advanced Technology : High Functional Glass

—\$10 Billion Market Expected in 21st Century.

(ニューガラス、21世紀には100億ドルの市場を目指す)

Focus Japan, April 1987, P.5

JETRO (日本貿易振興会) 発行の英文誌に紹介されたニューガラス。生残りのための厳し

第5回ハライドガラス国際シンポジウム

1. 会議の名称

英文名 The Fifth International Symposium on Halide Glasses
和文名 第5回ハライドガラス国際シンポジウム

2. 会期および会場

1988年5月29日(日)ー6月2日(木)
富士教育研修センター
(〒410-11 静岡県裾野市下和田656番地)

3. 会議の主催、後援

主催 第5回ハライドガラス国際シンポジウム組織委員会
後援(予定) 窯業協会 ニューガラスフォーラム
応用物理学会 光産業技術振興協会
電子情報通信学会 日本硝子製品工業会

4. 会議計画の概要

(1) 討議ならびに論文の範囲と題目

a. 対象となるガラス

ハロゲン化物ガラスおよびハロゲン含有無機ガラス

b. 題目

* ガラスの合成; 原料、高純度化、新ガラス組成、CVD法、溶融および成型法

* ガラス構造(理論および実験); X線回折、EXAFS、振動スペクトル、コンピューターシミュレーション

* 光学的性質; UV、可視、ラマン、赤外、各分光法、光散乱

* 物理的および化学的手法によるキャラクタリゼーション; 化学的耐久性、不純物分析、核生成および結晶化、磁氣的、電氣的、熱的、機械的および熱力学的性質

* 応用; レーザー、光学素子、電気通信材料

(2) 会議の言葉 英語を公用語とする。

(3) 論文の出版

a. 要旨集: 会議時にイクステンデッドアブストラクトを参加者に配布。

b. プロシーディングス: イクステンデッドアブストラクトをもとに、マテリアルサイエンスフォーラムから出版する。

5. 事務局

〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1
東京工業大学工学部無機材料工学科内
第5回ハライドガラス国際シンポジウム組織委員会
委員長 山根 正之
☎ 03-726-1111 Ex. 2522 Fax 03-729-0393